

(3) 西部住区

1) 基本的な考え方

西部住区は、現存する農地や隣接する国際基督教大学の豊かな自然環境と調和を図り、低層住宅地を基本に良好な住環境の整備に努めます。

東八道路沿道への商業施設集積の検討にあたっては、地区計画制度の導入をめざし、住宅地

環境との調和を図り一体的なまちづくりを進めます。主要幹線道路の整備として、3・2・6号線（調布保谷線）の整備の促進を図ります。また、生活道路の整備のほか、沿道緑化の推進などにより、良好な住環境の創出に努めます。

2) 主な事業の方向

- ①井口コミュニティ・センターの耐震化を図り、防災拠点化を推進するとともに、にしみたか学園第二小学校の耐震補強工事を実施します。また、にしみたか学園第二中学校体育館については、建替えを行います。
- ②老朽化が進んでいる西野保育園の建替えを行い、定員の拡充を図ります。
- ③バリアフリーの重点整備路線である都道（連雀通り、人見街道）については、安全で快適な歩行者空間が整備されるよう、都に要請します。また、人見街道のけやき並木の保存に努めます。
- ④3・2・6号線（調布保谷線）については、「環境に配慮した質の高い道路づくり」を基本に、緑豊かでシンボリックな道路としての整備や防災・環境対策等を含めた総合的なまちづくりの

- 視点から整備が図られるよう東京都と協議し、整備を進めます。また、国の自転車通行環境に関するモデル地区事業として、かえで通りにおける自転車道等の整備に取り組むとともに、調布保谷線へのLRT（新路面電車）の導入、東八道路への地下鉄の導入について、近隣市と協議しながら協力して都に要請します。
- ⑤農地の活用や開発行為による誘導等により、東西道路の整備や通り抜け可能な生活道路を設置して、幹線道路への連結が可能な道路配置を行っていきます。
- ⑥緑と水の回遊ルート整備の地域内ルートである小・中学校やコミュニティ・センターなど公共施設を結ぶ散歩道の整備を進めます。



3 西部住区



第II編
第2
都市空間整備の
基本的な考え方

※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、およそのイメージです。